

平成20年8月10日発行 第35巻第4号 通算152号

EURO2008

完全保存版

決算号

週刊サッカーマガジン
別冊盛夏号
ベースボール・マガジン社
定価 **980** 円

Weekly **サッカー** Magazine

スペイン 優勝

熱狂

EURO





CLOSE UP PLAYER

from Final

逆境をはね返した精神力

Text by Kayako KIMURA Photo by UNIPHOTO PRESS

RODRIGO TORRES

緊迫状態の大会序盤

ブロンズの髪のマドリレニョ（マドリッド出身者）は、もはや期待の新星ではない。19歳で代表デビューを果たし、「エル・ニーニョ（神の子）」と呼ばれた華奢な少年は、24歳の青年になった。84ゴールを置き土産にアトレティコ（スペイン）を去り、いまやリバプール（イングランド）の主力となった。EURO04、ワールドカップ06と、2つの大舞台を経験し、スペイン代表のエースに成長した。無得点に終わった前回大会、3得点を記録しながら決勝トーナメント1回戦で屈した2年前のワールドカップでの失望の後、彼は6年以内のタイトル獲得という使命を胸にオーストリアへ乗り込んだ。

もともと、スペインの快進撃とは裏腹に、苦しみながら決勝の舞台にたどり着

いた感も否めない。問題は、2トップの相棒ビジャがハットトリックを挙げたグループステージのロシア戦で起きる。54分にセスクと交代を命じられたのだ。確かに、自らのゴールはなかったが、20分の先制点の際はマーカーを振り切り、GKを引きつけてビジャに絶好のラストパスを送った。2点目の場面では、イニエスタがパスを通すためのスペースをつくり出した。



シャビのスルーパスに反応し、ラームと競り合いながら相手GKレーマンの動きを見て右足でシュート。ここまで1得点と不発だったエースが値千金のゴールを挙げた

Match

No.

31

パスサッカーの美が ドイツの組織を崩す

伝統国をいなしたワンタッチ・フットボール

ゆ つくりとスタンドを埋めていく。赤のユニフォームを着込む陽気な軍団は、決勝の舞台でもこれまでと変わらない。キックオフ寸前によくやくスペインに大声援を送る一角から空席がなくなった。

44年ぶりの優勝がかかった大一番で変わらないうのはサポーターだけではない。お国柄なのか、スペイン・イレブンもスローなペースでゲームに入っていく。序盤からドイツの猛攻を受け、最終ラインを統率するブジヨルは浮き足立つ右サイドバックのS・ラモスに何度も声をかけた。代表のユニフォームを着て、一度もファイナルの舞台に立っていない若武者たちが、落ち着くまでに時間を要したのも無理はない。R・マドリッドでチャンピオンズリーグの決勝という大舞台に立ったことのあるカシジャスでさえ、試合前から緊張の色を隠せなかった。

「クラブと代表は根本的に違ふんだ。代表のユニフォームを着て戦うファイナルは難しい。しかも相手のドイツには大舞台での実績がある」

キャプテンの言葉どおり、立ち上がりからEUROで5度の決勝を戦った歴史を持つドイツに攻め立てられる。ただ、新世代の「無敵艦隊」はこれまでとは違った。相手の攻撃に耐えると、一歩ずつ動き出した。

14分、アタック陣を指揮する司令官のシャビが大きく舵を取る。広い視野でドイツの穴を見つけ出し、イエスタに鋭いスルーパスを通す。相手の急所を射抜く1本のパスが、流れを大きく変えた。2分後にはイエスタがセスクとのワンツーで中央からこじ開け、右サイドからはS・ラモスが決定機を演出。立て続けにゴールを襲った。

33分、ついに均衡を破る。無敵艦



06.29 20:45

GERMANY 0 - 1 SPAIN

Ernst-Happel-Stadion - Vienna

EURO 2008 AUSTRIA-SWITZERLAND 6



Final

